

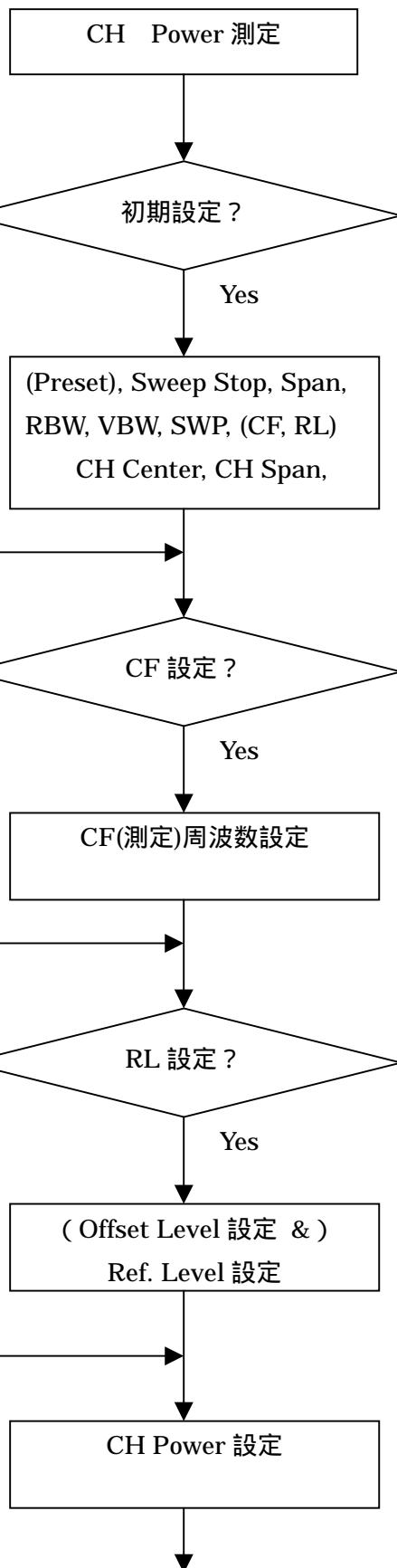
CH パワー測定ルーチン :

初期設定 : S1

パラメータ設定 : S2

パラメータ設定 : S3

測定機能設定 : S4



\* サンプルプログラム  
では、判断なしの部分  
があります。

\* 初期設定は最初の  
1 回だけで OK。

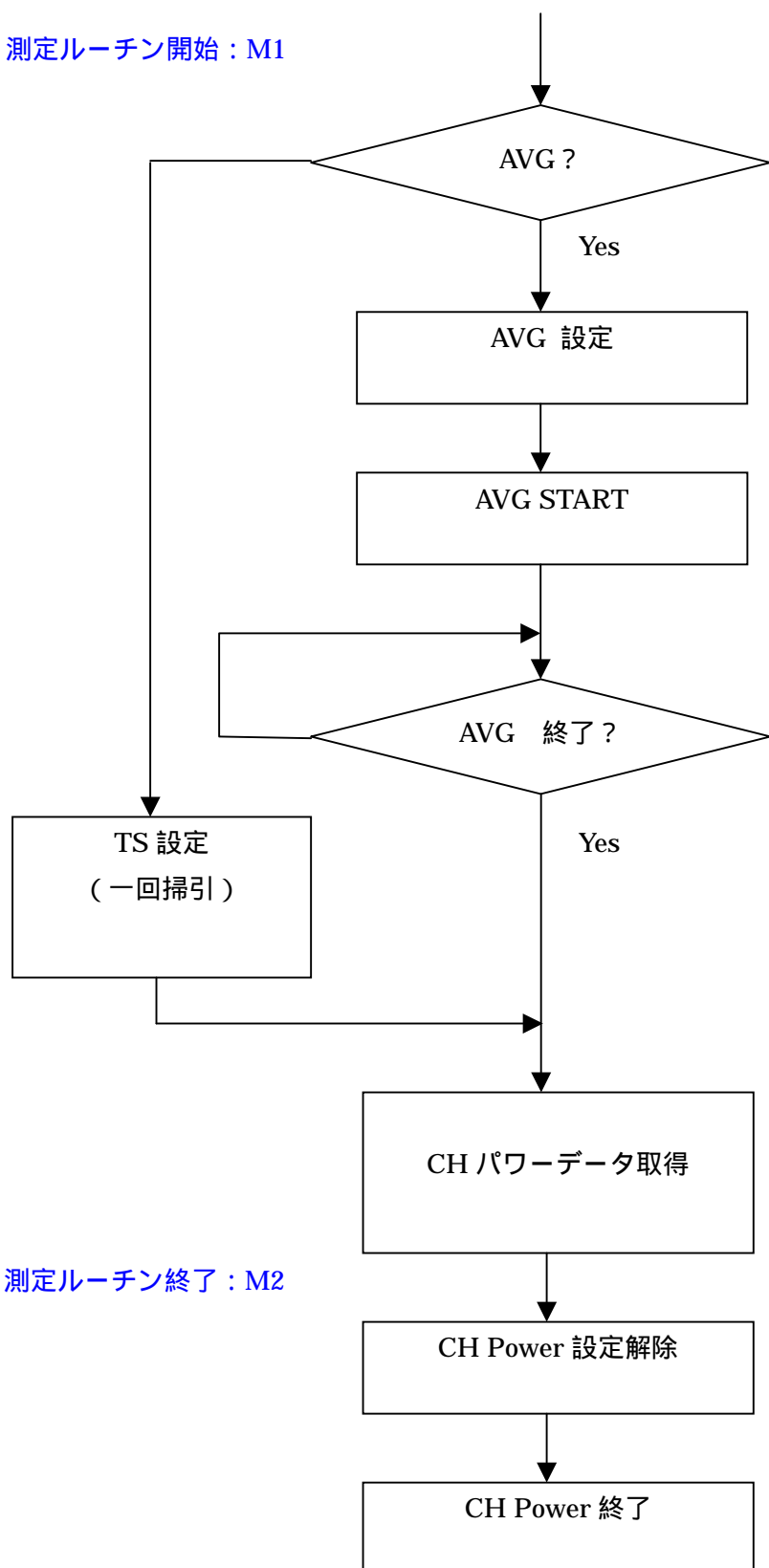
連続測定がある場合、  
2 回目以降は、CF や  
RL のみ変更して測定  
すれば効率的です。

\* 2 回目以降、必要が  
あれば設定するため  
( サンプルプログラム  
では判断は入ってなく  
初期化のところで設定  
しています )

\* 2 回目以降、必要が  
あれば設定するため  
( サンプルプログラム  
では判断は入ってなく  
初期化のところで設定  
しています )

\* CH Power ON

測定ルーチン開始 : M1



測定ルーチン終了 : M2

CH Power 測定ルーチン終了 :

\* アベレージは？

\* 測定

\* パワー・データのアベレージ機能を使用した場合。他に、トレースデータのアベレージモードもある

\* アベレージの終了待ち

\* TS は掃引終了後、自動的に次のコマンドを受付ける

\* データ取得

\* CH Power の設定を解除

ただし、再測定の場合はここで解除しないで、次の測定は測定ルーチン M1 から M2 だけをサブルーチン化して使うのが効率的です。

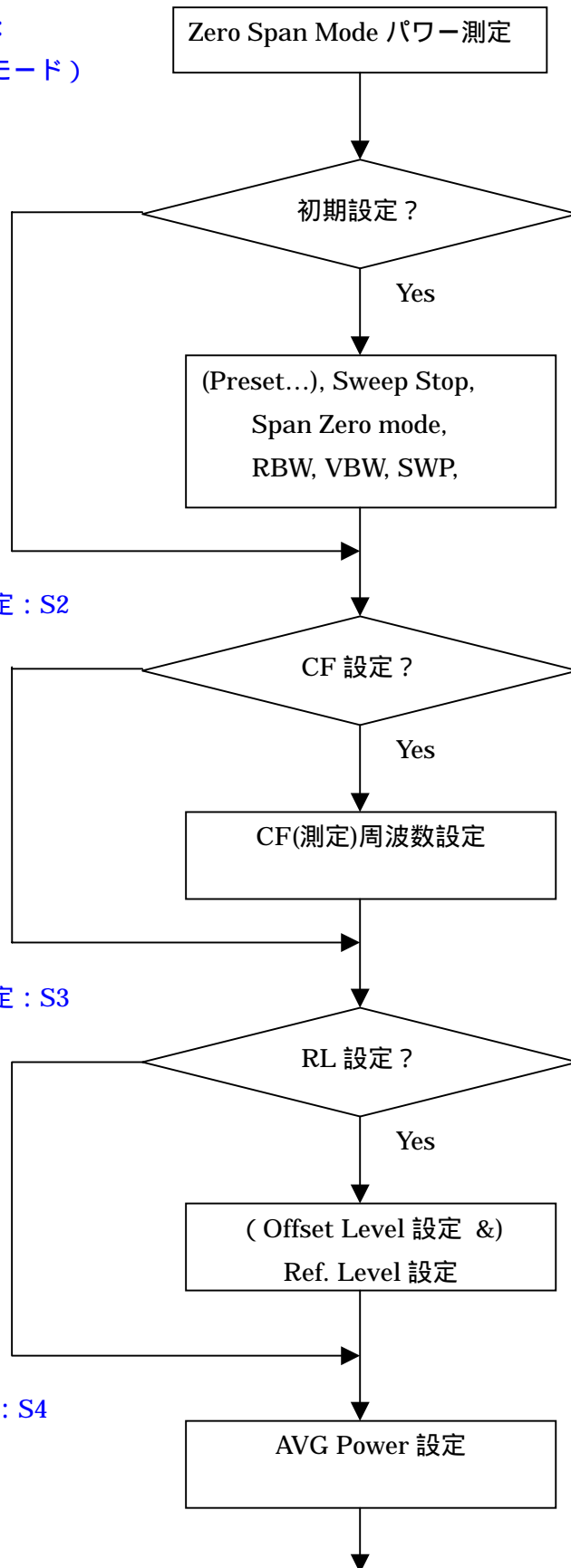
測定ルーチン：  
(ゼロスパンモード)

初期設定：S1

パラメータ設定：S2

パラメータ設定：S3

測定機能設定：S4



\* サンプルプログラム  
では、判断なしの部分  
があります。

\* 初期設定は最初の  
1 回だけで OK。

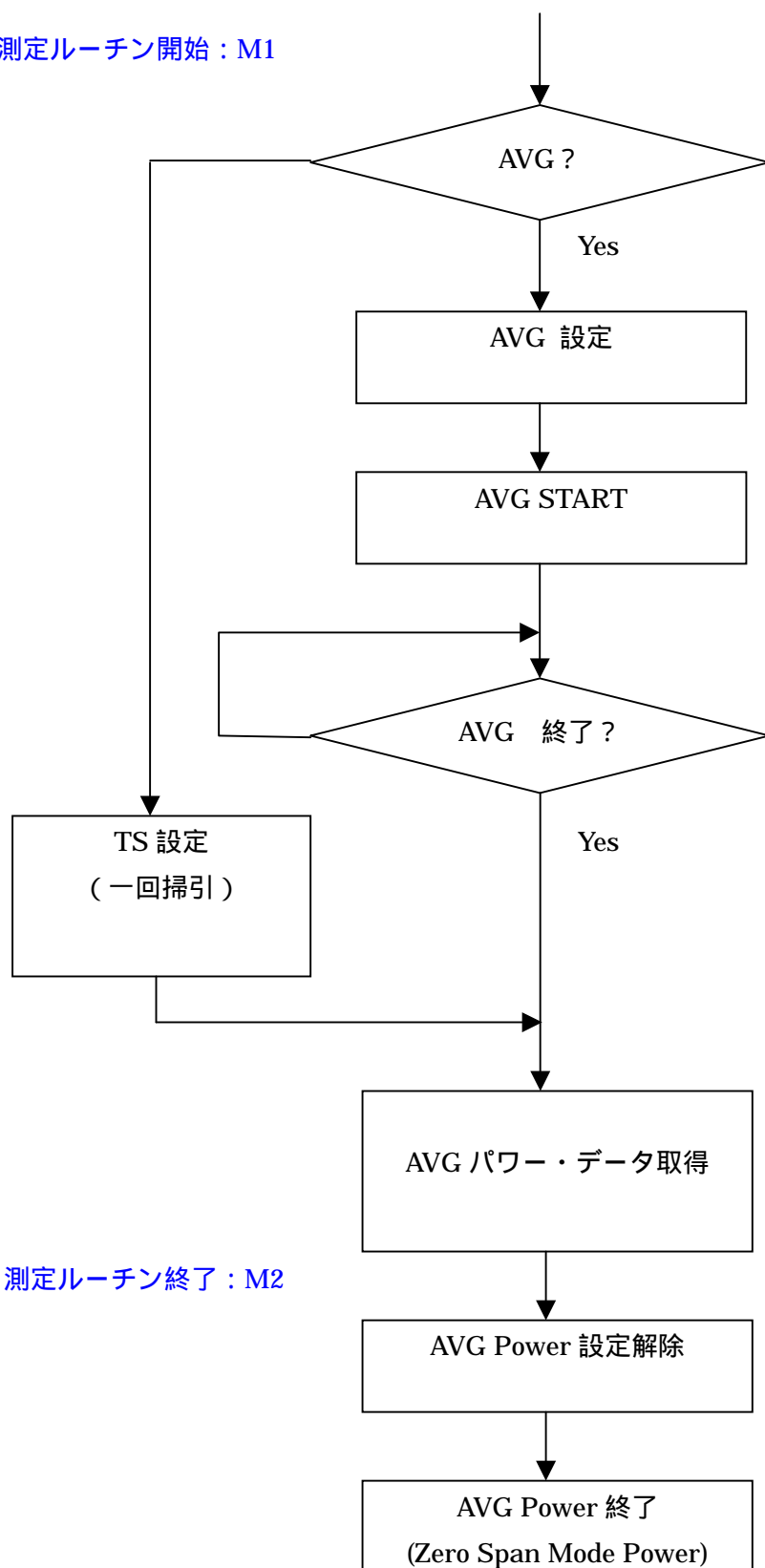
連続測定がある場合、  
2 回目以降は、CF や  
RL のみ変更して測定  
すれば効率的です。

\* 2 回目以降、必要が  
あれば設定するため

\* 2 回目以降、必要が  
あれば設定するため

\* ゼロスパンモードでは、  
データのバラツキを取  
るため、AVG モードを  
使用した。  
他に、マーカモードを  
使用しても良い。

測定ルーチン開始：M1



測定ルーチン終了：M2

AVG Power 測定ルーチン終了：

\* アベレージは？  
(Power AVG)  
サンプルではオフ

\* 測定

\* パワー・データのアベレージ機能を使用した場合。他に、トレースデータのアベレージモードもある

\* アベレージの終了待ち

\* TS は掃引終了後、自動的に次のコマンドを受付ける

\* データ取得

\* AVG Power の設定を解除

ただし、再測定の場合はここで解除しないで、次の測定は測定ルーチン M1 から M2 だけをサブルーチン化して使うのが効率的です。